

企画■東京の原風景を歩く ～密集市街地に「門と蔵のある広場」を訪ねて～

日時■2010年 4月 4日（日）13:00～16:50

コース■西ヶ原駅～西ヶ原1丁目市街地住宅（建替事業の従前・事後）～西ヶ原地区密集市街地～
西ヶ原4丁目防災公園街区整備事業（防災公園、福祉施設、賃貸住宅等）～染井霊園＜休憩＞
～門と蔵のある広場～染井地区密集市街地～染井通り～駒込駅
＜オプション＞ 六義園・夜桜見物(19:00-20:00)

参加者■◎山崎明子＋栗原 徹＋大竹 亮（コーディネーター）

飯村卓郎、市川多喜法、井手幸人、上野朋子、上野 梓、長田千絵美、呉祐一郎、呉 美樹、
佐藤晶子、重永真理子、高松 玲、野中るみ子、長澤純一、中村美保子、古里 実、水谷晴子、
森 正代、吉田雅一、脇野真澄、脇野陽子 （以上23名、敬称略）

企画主旨■

東京・染井地区は江戸時代の一大植木センターでしたが、現在は防災上危険な密集市街地になっています。そこに豊島区が防災広場を整備するにあたり、かつての植木職人の本宅にあった腕木門とコンクリート蔵という文化財を残しました。この「門と蔵のある広場」は、町内の随所に咲き誇るソメイヨシノとともに、街の歴史を後世に伝えることでしょう。また、隣接する西ヶ原地区でも、密集市街地の防災事業として、都市再生機構によって市街地住宅の建て替えや防災公園街区の整備が進められています。西ヶ原地区の拠点型事業と染井地区の修復型事業を見比べつつ、染井霊園や六義園など、桜の名所を巡ります。超高級住宅地から密集市街地までが歴史的経緯によって共存する「東京の原風景」を一緒に歩き、こうした街の持ち味を活かすような今後のまちづくりを考えましょう。

＜参考＞ 川添登「東京の原風景～都市と田園との交流～」(ちくま学芸文庫)



西ヶ原4丁目防災公園街区の集合住宅



染井の防災広場に残された江戸時代の腕木門

＜参加者の意見・評価＞

1 ■西ヶ原1丁目住宅建替事業（シャレール西ヶ原）

評価:3.15 内訳:AAAABBBBBBCCCC

A:密集地の中に、高さを抑えて貝塚広場を囲むヒューマンスケールの住棟が出来た。今後、美しい市街地住宅の建て替えや奥の敷地への民間住宅建設がなされるが、全体として高い都市性を保ってほしいもの。

A:本郷通り沿いの市場は気にはなっていましたが、地元の方の当初は非常に流行っていたとの話にはちょっとひかれた、その代替地として、官舎を代替住宅に改築。以前、この空間を歩いたとき、なにか惹かれた、ゆったりとした感じを引き継いでほしい。

A:機械式駐車場を目立たなくしている点、道路側に広場を設けている点がいいと思う。

A:貝塚広場も上手く収まって○。

B:貝塚の保存をしていたり、色合いがさりげなかったりと、周囲との関係や歴史を踏まえた事業であることを強く感じました。ソメイヨシノが良く映える住宅であったように思います。ただ、もしあのような住宅ばかりが出来ていくと、一種のニュータウンのようになり、西ヶ原らしい散策していて楽しい環境では無くなるのではないかと感じました。

B：西ヶ原貝塚を取り囲む集会施設はとてうまく配置デザインされている。貝塚広場が地域に開放されている点も非常に良い。

B：遺跡が出たために、配置がまねな面白さになっている。それを利用してディテールも詰めて欲しかった。

B：公務員宿舎跡地がうまく利用されている。200 年住宅を教わったのもよかった。

B：残地のビルドアップが気になります。完成している先行街区との連続性を確保した計画になるとよいのですが、事業手法が違うので難しいのでしょうか？

C：地中にあったものを避けるように建物を作った点が良かった。

C：これから街がこんな風にならっていくという感じで、まだまだ近隣との一体感が出てはいなかったように感じる。しかしながら、貝塚の地歴を残している点、大通りからの玄関口のようになり、その裏に残る密集市街地へ続くような点が空間の流れを作っているように感じた。

C：まだ全体ができておらず、本来の評価はその後。貝塚広場などはいいが、建替住棟のデザインより、端正な古い住棟の方がいい。



西ヶ原 1 丁目市街地住宅（1963 年竣工）



シャレール西ヶ原（2010 年竣工）

2 ■西ヶ原 4 丁目防災公園街区整備事業

評価:4.08 内訳:AAAAAAAAABBC

A：広大な防災公園を核に、集合住宅の通り抜け通路や福祉施設のテラスなどが連続的に組み合わさって、有機的な複合体となっている。周辺の密集市街地との関係も良く、外語大跡地という地域にとって貴重な空間が十分に活かされている。

A：密集市街地の中で、これだけの公園を確保したことは非常に重要。今後、ここにつながる道路をきちんと整備すべき。

A：跡地の一体的な開発だけあり、質の高い空間が出来上がりつつあると感じました見晴らしがよい高台で、気持ちよかったです。

A：外語大の跡地をうまく活用している。とくに防災公園は、大切な空間となっている。

A：広々とした開放感のある公園である。斜面もうまくいかしている。

A：民間住宅の入りが悪そうなのが気になるが、傾斜を利用して気持ちの良い空間になっている。

A：定期借地権の地代でコンペをしているとは、初めて知りました。

A：東京外国語大学の跡地として長い間そのままになっていたが、幅員の広い道路も開通し、すっかり様変わりしていて驚いた。防災公園の広い草っぱらの開園が待ち遠しい。福祉施設も、平日にはパンを販売したりと地域に開かれているようだ。

A：住宅が密集している路地空間から防災公園に抜ける道が、まちにメリハリをつけるすばらしい仕掛けのように感じました。防災公園があれほど重要になるのは密集市街地ならではのようですが、西ヶ原 4 丁目防災公園街区と密集市街地のスケールの差をとて大きく感じました。それが今までの街並みを変えるもののだとしても、防災上は一番現実的な解決策でしょうし、あれがこれからの新しい西ヶ原の風景なのかなとも思いました。

B：ダイナミックな土地形状と広い公園を活かして、アーバンデザインを感じさせる建築を考えて欲しかった。

C：ここに隣の小学校も防災公園を囲むように計画されたら、もっと防災公園の多様性が生まれると感じた。

C：民間住宅は、防災計画を考えて建物の下を通り抜けられるようになっているのが良い。密集市街地からのスケールの差が大きく、別の町を移植したようだった。



集合住宅内を抜ける防災公園への公開通路



敷地の高低差を利用した広大な防災公園

3 ■ 染井霊園

評価: 4.08 内訳: AAAAAAAAAABBBBC

- A: 歴史のある墓地であり、新しい墓地とは異なる趣きがあった。地元の名家の墓は圧巻だった。
- A: ソメイヨシノの並木が見事だった。著名人の墓を見たのもよかった。
- A: さすがソメイヨシノ発祥の地、ここの桜は、大変見事！
- A: 都心にこんな場所を残しているのが神秘的で、タイムスリップした気分だった。
- A: 東京都の都立霊園に立ち入ったのは初めてでしたが、管理が行き届いていて、ガイドブックがあったりして、墓地ツアーが流行っているというのも分かる気がしました。
- A: 見事な桜並木の霊園で、ここで眠っている方々がうらやましい。
- A: 歴史的な空間が保存管理されていて良い。墓場でシートをひいてお花見するのは、違和感があった。自分の親の墓の横で、知らない人が飲み食いして騒いでいたら、少し嫌な人もいるかもしれない。
- B: 桜はとても美しい。裏側から入ったためか道が判りにくかったので、判りやすくする工夫があるといい。
- B: 桜並木がとてもすばらしい。明治の著名人たちのお墓がたくさんあり、外人墓地は趣きがあった。
- B: なかなか趣きのある墓地ですね。
- B: ここだけは、40年間あまり変わっていない。
- C: 染井霊園はもはや歴史を感じさせる風格があり、桜がとても綺麗に感じました。しかしそれが都市で人々が生活しているただ中にあることが適切なのか、疑問を感じました。あえて歴史を踏まえずに考えるならば、少し郊外にある位が丁度よい存在なのかなと（個人的には）考えてしまいました。

4 ■ 門と蔵のある広場（染井密集市街地の防災広場）

評価: 4.38 内訳: AAAAAAAAAABBBB

- A: 細かいところまで、良くデザインされた広場。門と蔵を残したことで象徴的な雰囲気ができている。
- A: 藤堂家下屋敷の門と蔵との調和がいい。災害用トイレがよく工夫されており、モデルケースになると思う。
- A: 蔵を残したことは、大変意義深いと思う。広場にトイレがなかったことは残念。
- A: 舗装材料の使い方など、ディテールもなかなかのものでした。
- A: 防災広場に門と蔵を残すという逆転の発想、広場と調和させたすぐれたデザインセンス、それを実現した実務上の努力・・・に敬服します。これで、植木の里としての地域の記憶が、かろうじて残りました。
- A: さすがソメイヨシノ発祥の地、ここの桜は、大変見事！
- A: 蔵と門を保存するだけなのに、行政という流れに入ると手間と時間がかかる作業であったのだろうと思います。広場にあるのは裏門とのことですが、もしこれが正門だったらどれほど大きかったのだろう。
- A: 門と蔵によって広場が個性を持ち、大切に作られた広場なのだと感じさせられました。昔に作られた門と蔵からは、大事に空間を作ろうとした先人の想いを感じ、改めて歴史を大切にする意義を知ったような気がします。また、それらを残そうとなさったことは、今後のまちづくりにも影響を与える非常に大きな成果だったのだとうと感じました。もし防災公園というだけでなく、さらに地域住民が普段から憩えるような仕掛けがあると素晴らしいのではないかと思います。
- A: 地域の人々が、蔵を公開する労を引き受けているところがよかった。「ないないづくし」の中、広場に門と蔵を残すために奔走したご担当の方の話が聞けてよかった。

B：計画者の想いや地元の人の想いを聞けて、あの場所の良さをさらに感じた。

B：防災広場の中に、歴史的な物を残している点が良かった。門と蔵が公園からやや浮いているように見えた。

B：文化財を残すのはとても大切です。できれば、日常生活の中で残せれば、もっと贅沢な生活ができる。相続税制度を再検討。



染井霊園の外人墓地区画



残された丹羽家のコンクリート蔵

5 ■染井密集市街地（路地と坂道、小広場、商店街）

評価:3.33 内訳:AAAABBBBBBCC

A：染井という土地柄、小さな公園やコミュニティ施設に桜の木があるのがとてもよい。オタマジャクシもいるビオトープがとても心引かれました。

A：入り組んだ狭い路地、突然出会う急な坂道、秘密の通り抜け、小さな広場、庶民的な商店街など、ヒューマンスケールな空間の魅力が詰まっている。回りには、六義園や染井霊園、超高級住宅地があり、鮮やかなコントラストをなしている。あちこちに桜があるのも、この町らしいところ。

A：今回の路地のような入り組んで雑多な人間的な空間は面白い。町を歩いた時の楽しさは、中の人の生活がはみだしてできる予想できない空間の中にあると思う。防災の観点からいうと、かなり難しいと感じた。

A：防災等の危険性を懸念されがちだが、こんな街が存続するためにはその良さを外の者が歩いて、感じて、どう活かせるかを考えることが大事だと改めて思った。

B：防災上は問題があると思うが、路地や坂、階段のある街並みは、ヒューマンスケールの良さがある。商店街は意外に高密度だが、もなかなか味わいがある。

B：地形や道の形状など興味深いものが感じられたが、勉強不足で深読みができなかった。

B：本郷通りと染井通りで挟まれた空間は、路地と坂道、そして商店街と迷路のようにになっている。歩くと楽しいが、一方通行が多く防災面では不安。

B：今までに私が体験したことが無かった都市空間で、非常に面白く歩きました。先が予想できない道にわくわくし、子ども時代にこの中でかくれんぼが出来たらどんなに楽しかっただろうと思いました。しかし、たとえば自分が行政側の人間だったら、もしくは移動に困難を感じる立場だったとしたら、恐らく私はこの空間を苦々しく感じた様に思います。まちの個性としてこのような空間はぜひ残って欲しいと思うのですが、なかなか難しい問題だと実感しました。

B：住宅地と商店街が近接して存在しており、住宅地としてはとても住みやすいだろうと思う。

B：情緒ある暮らしがあり、懐かしさを感じた。

C：歩いて暮らすまちとしては、そんなに不自由なく暮らしやすいのですが、緊急車両が入れないような路地では、確かに災害時の不安を感じました。商店街は意外と落ち着いていましたが、夕方はもっと人出が多いのでしょうかね。

C：路地に花や植木が置いてあると、ほっとする。

6 ■今回特に印象に残った所（いくつでも）

西ヶ原4丁目防災公園街区★大きな広場と集合住宅、福祉施設の関係性が良い。密集市街地の路地から出たところに、空間が開けるのが気持ちよい。大階段も心地よい。

西ヶ原4丁目防災公園街区★フルオープンが楽しみです。

門と蔵のある広場★ありきたりの公園ではなく歴史を生かす工夫と努力が感じられ、防災まで意識した公園。
門と蔵のある広場★歴史的建築物が地域の財産として存続している。

門と蔵のある広場★防災事業で歴史的建造物を残すという逆転の発想がいい。親しまれてこそその広場だから。
門と蔵のある広場★今まで見た広場の中でどこよりも強烈な個性を感じました。

門と蔵のある広場★住民の想いや計画者の想い、そして当時の植木センターとしての歴史を伝えられる広場になっていったらいいなと思える広場でした。そして、今後の広場の意味もこうやって多様化していくのだと思いました。

門と蔵のある広場、私の庭みんなの庭、六義園★

西福寺前の桜のトンネル★最高のお花見ができる空間。

西福寺前の桜のトンネル★よくテレビで見るが、やはり素晴らしい。欲を言えば西福寺の塀がちょっと・・・。

西福寺の伊藤伊兵衛政武の墓★皆は通過したが、染井の植木職人として名をなした重要人物の墓を見逃さず見ることができた。

染井密集市街地★あそこまで密集している路地を歩いたのは初めてで、とても面白かった。

染井密集市街地★みちと住宅の関係の近さに驚きました。

染井通りのマンション：セットバックして、そこに桜の古木を残したり、植栽をしたりしていました。

染井霊園★何度も訪れているが、小規模ながら外国人墓地があることは知らなかった。ソメイヨシノがとてもきれいだった。

染井霊園★私もここで眠りたい。

桜★染井霊園の他、広場、道路脇、駒込駅前などに桜をたくさん見ることができて良かった。



染井密集市街地の階段状の路地



西福寺・染井稲荷神社前の桜のトンネル

7 ■西ヶ原・染井の密集市街地整備は、今後どのように進めればいいのか

●住環境としては、それほど悪くは無いので、防災公園や染井霊園などのオープンスペースへの避難や消火活動を行うための道路が、ある程度整備できればいいと思う。

●かなり入り組んでいたのも、最低限の緊急車両通行や避難路は必要と感じました。

●できるだけあまり大きな開発はしてほしくないと思った。延焼をせきとめるブロックとしての開発と、ポケットパークなどを作りつつ今の空気を残しながら過密を解消する計画を併用していくのが良いかなと思った。

●再開発をして防災公園を作れば良いということでは片付かない。密集市街地の路地や階段は、歩いていてとても楽しい空間ではある。実際に、今回も子供達は車輛が通らないという安心感があるのか、一歩路地に入ると「ここはどこにつながっているんだろう？」と言って勝手に迷路に入り込んで楽しそうに走り回っていたが、やはり緊急車両が入ってこられるか？という不安はある。

●あのような路地空間は一度壊してしまったら決して再現できない、ということを考えると何とか残していきたいと思ってしまいます。しかし、やはり危険な市街地であることは明らかであり、部分的には壊して整備していくことが妥当だと思います。具体的には、一定間隔で4m道路を通すことなどがやはり有効ではないでしょうか。一部の路地空間を無くしてでも、残りの路地空間を何とか残す、また何よりそこに住む人々の命を守るということが必要だと考えます。さらに、そのようなハード面だけでなくソフト面からのアプローチも必要ではないでしょうか。具体的には、住民の防災意識を高める、住民同士のコミュニティを密なものにしていくといった事が考えられると思います。

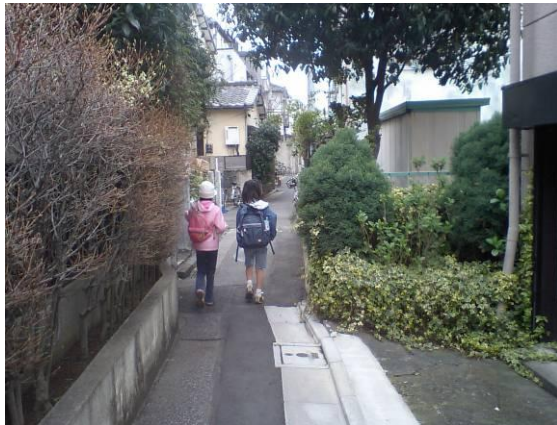
●少しくらい印象から空家が増えていたり、高齢化が進んでしまうのではないかと感じた。しかし、街路は迷路の様だし、否が応でも人と人がすれ違う時に互いを気遣うような街路の広さになっているのは、もっと街の良さとして注目できるところだと感じた。

●これも勉強不足でなんと答えて良いかわからないが、お屋敷と庶民住宅が併存するメリハリのある都市空間を壊さないで欲しい。

●密集市街地もそれなりに情緒があるので、時間をかけて改良していけばいいのではないかな。

●道路が狭く密集しているところもあるが、公園や墓地、社寺、お屋敷、マンションなども多い。道路整備よりも、街の持ち味を残しながら建て替えを進めるため、住民が愛着を持つコミュニティが必要ではないか。

●広場や緑地を通ったためか、それほど密集しているという雰囲気はありませんでした。住んでいる地元の人たちが愛着を持つまちであれば、整備は進むと考えます。



防災公園近くの西ヶ原密集市街地



染井通りのマンション前に残された桜並木

8 ■染井のまちづくりに「植木の里」という歴史をどのように活かしていくといいか

●地域の人々がそれを意識して、各々の家の塀を生垣にするなど、少しずつ植木を増やして行くのがいいのではないかな。

●住民が当時の植木屋ポリシーを持って、私有物の草木を大切にすること。(街路にはみ出すことがあってもそれを厳しく規制はしないこと)。外の者もそれを愛でる時間の余裕を持つことが必要だと思う。

●今ある木や庭を認定するなどして保護していくことが必要だと思う。散策マップなどがあれば、もっと「植木の里」を手軽に見て回れるかもしれない。ただ、観光資源としてはやや弱い感じがするので、他の目的の付加価値として使うのがよいと思う。(霊園・路地散策とかと抱き合わせにするとかな?)

●(すでに取り組みされているのでしょうか・・・) ①桜をシンボルに活用し、桜の時期に集客するイベントを強化 ②六義園等の庭園にて、染井の「植木の里」をアピール

●現状でもかなりソメイヨシノを売りにしてPRされているように思う。ソメイヨシノだけでなく、「植木の里」の歴史をもっとPRすると思う。

●観光客的な発想ですが「常設」の植木市があるとよいのでは。4月だと染井桜の植木や盆栽があったら、絶対に買って帰ります。

●水戸市では、転入した住民に梅の苗木を配っていました(梅の名所・偕楽園があるので)。豊島区も、桜やツツジを配ってはどうか。

●今回のように、蔵の開放を年に何回かすることはとても良いと思う。染井通りに「門と蔵のある広場」の案内看板があっても良いと思う。

●東京の原風景に書かれているような風景は、実際歩いてみると想像以上に感じられなかったのが残念でした。植木屋もないし、ことさら庭いじりやガーデニングが好きそうな人も住んでなさそうだし、難しいですね。小さな公園やマンションのエントランスだけじゃつまらないですね。

●単に過去の歴史を「見せる」という形ではなく、現在のまちと「協奏」することで、染井の植木の里という歴史は活かせると思います。例えば、現在の密集市街地という課題に対して植木を用いた積極的な解法を模索できないでしょうか。ポケットパークや拡張した道路に丁寧に植木を設えていけば、それは単なる市街地整備事業以上の染井らしいまちづくりになっていくと思います。

9 ■今回の企画全体についての感想など

- お花見をしながら密集市街地について考えるという、なかなかユニークな企画だったと思います。(栗原 徹)
- お花見とセットで企画していただき、どうもありがとうございました。密集市街地や防災公園を見て回る機会に恵まれ、また、防災空地と歴史的建築物という取り合わせに出会えたことも良かったです。(さとうあきこ)
- 桜が満開で、これ以上ないグッドタイミングだった。駒込から染井にかけてはあまり歩いたことがなく、おかげで江戸時代と現代を対比しながらの土地勘も得ることが出来た。この機会に川添登著「東京の原風景」及びこの本で紹介されている三之丞伊藤伊兵衛著「花壇地抄」も読んで、歴代伊藤伊兵衛のことや染井のツツジ、ソメイヨシノなど、植木や花卉園芸の歴史も学ぶことが出来た。当日午後7時のNHKニュースでソメイヨシノの発祥の地として染井説が有力になったと報じられたのも絶妙のタイミングだった。(長澤純一)
- とても寒い日だったが、まち(路地や商店街)のおもしろさに、歩き通すことができた。「染井霊園」と「六義園」と「桜」と素晴らしい資源があるのだが、あまり知られていないので残念と思う。(水谷晴子)
- あまり馴染みのない地域を歩けたので、興味深かった。(二瓶正史)
- 後半、せまい路地を巡りに巡って、再びスタート地点の小学校にもどるという心憎いコース設定が楽しかったです。満開の桜の時期に染井地区の充実した事業を体感できた、充実の tekuteku でした。どうもありがとうございました。六義園のしだれ桜もすばしかったです。(野中るみ子)
- 私が子供の頃から慣れ親しんだ西ヶ原市街地住宅や国家公務員宿舎、東京外語大学などが、まちづくりのために生まれ変わる姿に時代の経過を実感して感無量です。また、散歩コースの染井密集市街地も、今回は新しい視点で歩くことができました。地域の記憶を将来に伝える「門と蔵のある広場」ができて、本当に良かったです。(大竹 亮)
- 今回は、地元企画ということで、新しい発見を求めて娘と参加しました。外語大跡地の防災公園の草っぱら、ぜひ遊びに行つて来て、皆様に感想をお伝えしたいと思っています。コーディネーターの皆様、どうもありがとうございました。(脇野真澄)
- 初めて参加させていただきましたが、とっても刺激的な一日でした。もっともっと様々な方々と街を歩いて、想いを知っていきたいと思いました。(長田千絵美)
- 見ていて楽しいだけではなく、路地と防災のジレンマや歴史と開発のバランスなど、考えることも多かった。知ることは都市について考える材料として必要なので、貴重な体験になったと思います。(中村美保子)
- 西ヶ原や染井のまちがそれぞれの時代で移り変わり、その度に必要な要素が加えられて、現在の形に至っている事が感じられました。あらゆるものが積み重なって作られた今の街並みに、次はどのような次の一手を投じるのか、その面白味を少し垣間見た様に思います。皆さまのおかげで楽しい時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。(高松 玲)

■企画者より

「蔵を残せ」というトップ方針と、住民主導型まちづくりの象徴になるのではと「心配」する旧型行政組織とのせめぎ合いの中で、蔵保存の仕事を担当し、かれこれ二年。今回、都市と住宅を考える会他たくさんの皆さんとともに西ヶ原から染井霊園周辺を歩き、その中で広場見学のコメント(辛口含め)もいただき、やっとこの仕事を客観視できた気がしています。

密集市街地整備地区としての染井霊園周辺地区では、行き止まりの解消と燃やさないまちづくりの連携で、生活している人々の命の安全と現在ある坂と路地の景観を守っていく方法を考えています。(山崎明子)

